



AIIC

粘菌の会 会報

第7号

2019年11月1日発行



10月22日 式典

令和の元号が始まり半年、共にスタートした会報もこうして7号発行に至りました。粘菌を通じた仲間の輪が広がり、楽しみながら自然保護というあゆみに一歩一歩、進みたいものですね。

- 10/21 能満地区農道横の古木、切り株上→

祝 マメホコリ

- 10/28 一週間後、新しい仲間も現れました。



粘菌博物館も大雨による甚大な被害!!

25日、日中から夜半にかけての大雨は、この東国吉地区にも「かってない」「想定外」といった災害に見まわられました。

ありがとうございました。

手作り粘菌博物館も70センチ程の浸水となり書類や保管庫等が浮遊し散乱の状況となりました。発生翌日は再びホースの水で床に溜まった泥流しから、整備開始と地域の皆様には大きな協力をして頂きました。人々の応援が私たちの『力』となります。

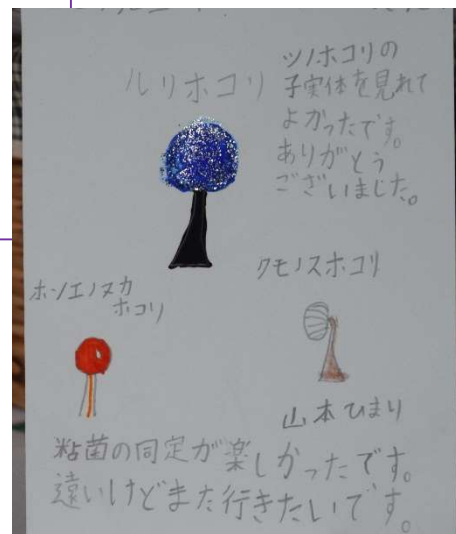


2018年5月12日

博物館 整備

行事予定

- 11月2日(土) 定例会
- 8日(金) 市東小学校2年生の粘菌博物館見学
- 13日(水) コスモス国際賞受賞記念講演会
安田講堂にて出席予定



山本ひまりさん(小3)の楽しいお便りです。

エコメッセ 2019in ちばに出展しました!



わたしたちはNPOを立ち上げて粘菌の観察をとおして自然環境保護の活動を続けています。エコメッセで粘菌の観察会を設けるのは去年に引き続いて二回目です。活動が知られてきたのか、物珍しく寄ってくる人だけでなく、中には去年に引き続いて親しみを持って訪れる親子も見受けられました。



「私も見せて!」

昨年もやってきた
ガールスカウトの
お姉さん



粘菌の会 青年部!!

文責 中村(良)

「粘菌」を「年金」か、とまじめに問いかける人も少なくなっているようです。粘菌は微生物やキノコなど菌類が豊かな環境を好み、生存を脅かす有害物質を検出して適応できる環境を選ぶことができます。

いいかえれば、粘菌は一級の精密検出器の有害物検出能力に匹敵しているだけでなく、土壌生物の生息環境としてふさわしいかどうかの評価までを教えてください。わたしたちは環境汚染の進む中で、粘菌の力を頼りに生物の棲みやすい環境を守っていかうと考えています。

粘菌は変形菌と呼ばれ、環境の変化に伴って自分の姿や働きを変える種です。美しく、かわいらしい整列した群生の植物状態の子実体も目を引きませんが、動物状態の変形体は単細胞ですが、脳はなくても、持つ機能はヒトに劣りません。ヒトにはない知的行動をとることもできます。絶滅することなく生きてきた、その生き方から、環境問題に苦しむ私たちが学びとる点は多いと思います。